

ゆあほうが通信
夏長

なごみ

通算6号

なごみをサイバーピアご利用の麻呂美子様に着いて頂きました

編集・発行 社会福祉法人豊生会 ゆあほうむ棟原広報委員会 H25.7.29発行 奈良県宇陀市棟原長峯200-1 TEL0745-92-8111



ご寄附いただきました

ありがとうございます。
ご利用者様のために大切にに使わせていただきます。

歩行器



リクライニング車椅子



吉村豊様

関本光治様

トランスボード



クッション



上岡靖雄様

森岡祥章様



リクライニング車椅子

五楽の里様



シャワーキャリー

須山計徳様

ケアハウス壁飾り制作



レストランやまと富士制作

ケアハウスの皆様は、二階レストラン『やまと富士』でお食事されています。テーブルが8脚あり、2か月に1回席替えが行われ、各テーブルの方達でご歓談頂ける様にテレビや音楽は流さないようにしています。

少しさみしく感じるので正面の壁に季節に合せた飾り付けをしています。ご利用者様から褒めて頂ける時も有れば「デイサービスの方がよかったから見て来たら」とのご忠告を受けることもあります。

一年を通して季節感を出し、食事をしながら見て楽しみ、お話のきっかけになればと、職員で知恵を出し合い、ご利用者様にも手伝って頂き、毎月季節に合わせた壁飾りを制作しています。春のサクラ・チューリップ・五月の鯉のぼりとタンポポ、六月の紫陽花、七月の七夕飾りに織姫・彦星・天の川などの壁飾りに貼りかえると、近くまで見に来て「きれいやな〜。」「よくなったわ。」と声を掛けて下さった時には嬉しく「ヤッター〜!」と思っています。外からのお客様や家族様も見て下さって次回を楽しみにされているようです。職員一同より一層良い物にしたいと考えています。

ケアハウスへお越しの際は「レストランやまと富士」をのぞいてみてください。

月に2度ほど、皆さんでカラオケを楽しんでおられます!!
皆さんとてもお手です(^o^)



5月20日に、セレーノ職員より日頃の感謝の気持ちを込めてご利用者様にカーネーションをお贈りしました。



そ〜れ行事紹介♡

二階では、月に一度その季節に合った行事を行っております。
春はお花見や遠足
夏なら花火・七夕など・ご利用者様も毎月楽しみまされています。今回は、春から初夏を中心にご紹介いたします。



吉川様の家族様が折り紙で作成された雛人形です。



端午の節句



青空(あおぞら) 喫茶



この日は、アイスクリームを召し上がって頂きました(^o^)

これからも様々な行事を企画してご利用者様に楽しんで頂ける様に頑張っていきます(^_^)



お花見

ひなまつり



フロアーに飾っている
雛人形と写真を撮りました。
年に一度の楽しみです！

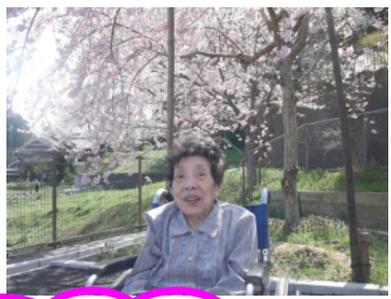
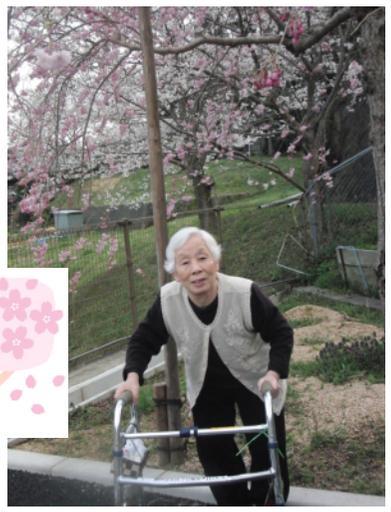


雛人形は節分が終わり、**立春**頃から遅くても**二月二十四**日まで飾り付けるのが一般的と言われています。



また、雛人形は、子供の身代わりとなり、事故や病気から守ってくれ、子供の健やかで幸せな成長を祝う為飾るとも言われています。

お花見



皆で、施設に咲いている桜を見に行きました。満開で綺麗でした。

平成25年 ゆあほうむ橋原 遠足

～ 針テラス ベリーファーム ～

今年も、ゆあほうむ橋原の遠足が開催されました！！今年も晴天に恵まれ
大きなアクシデントもなく沢山のご利用者様と、ご家族様に参加して頂きました！！



実行委員長 桐久保より、一言！！

ご利用者様には、楽しんで頂けたと思っております。又、スタッフの協力もあり大きな
ハズニングも無く、無事に開催出来た事に感謝致します！！

口腔委員会より

口腔ケアとは…？口腔ケアの目的とは…？口腔ケアの基本理念…？

「口腔ケア」は口腔内疾患の**予防**だけでなく、食べ物を「おいしく食べたり、楽しく

コミュニケーションを続けていく為の**とても大切な生活習慣**です！！

ご自身の「**お口**」の健康にも、どうぞお気を付け頂きたいと思っております。

ゆあほうむ文芸

水照るや粹でないせな舟祭

くもまも
雲間洩る宵月あはし釣忍つりしのぶ

湯上りの肌に馴染みて白上布しろじょうふ



宮西 君子様作

ツバメの巢今年も忘れず帰りきてヒナ生まれしかチチチと聞こゆ

わが友は過去の記憶に生きる人いかにいますかクレアーレにて

北国の鈴蘭の香り閉じこめて便り待てどもいまだ届かず

(北海道のいとこ達がみな高齢化して最近は音信不通です)

内藤 妙子様作

熱中症に気をつけましょう

暑い日々が続きますが、熱中症には皆様十分注意をして頂きたいと思えます。分かっているようで、なんとなく軽く考えてしまいがちなこの症状ですが、よく報道されているように死亡事例も後を絶ちません。適切な対応を心掛け頂ければと思います。

熱中症は、高温環境下で体内の水分や塩分(ナトリウム)のバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして、発症する障害の総称です。初期症状としては①手が冷たくなっている ②指の爪を押してピンク色に戻るのに3秒以上かかる ③皮膚がカサカサしてくる ④舌の表面がザラザラして赤黒い色になって

いる ⑤立ちくらみや眩暈がする ⑥唇がしびれる ⑦大量の発汗 ⑧汗がでなくなる、汗がとまる ⑨脈が早くなる ⑩筋肉が痙攣する
といったものがあげられます。これらの症状が現れたなら、無理をせずに、日陰やクーラーの効いた涼しい場所で休む・脇の下、首、股など動脈のある部分を冷やす(いっきに水をかけたりはせず、アイヌノン等を使って部分的に)・水分を補給する(スポーツドリンク等で塩分の補給を行う)・足を高くして脳への血流を保つ といった対応を行って必要であれば速やかに受診をして頂きたいと思えます。健康に十分気をつけて、楽しい夏を過ごしましょう。

これまでのデイサービスは（ゆあほうむを含め多くのデイサービスが）「利用時に楽しんでもらえるように」との考え方が主流となつて運営される傾向が強くありました。「来て頂いたご利用者様に楽しく過ごして頂くこと」とはとても大切なことであると思いますが、この「楽しく過ごす」という意味を一度見直していかなければならない、転換期に今デイサービスは差し掛かってきていると感じます。旅行に行つた時に旅館やホテルで受けるサービスは、客の手を煩わさせずに高い満足感を与えることができ、施設が高い評価を得ると思います。到着と同時に迎えがあり、さつと荷物を運んでくれて部屋まで

案内される。部屋のつくりや調度品、窓から見えるながめの良さ、家では普段あまり味わうことのできない料理、従業員の接客態度等、非日常的な感動を得ることが旅行の楽しさの一つでしょう。この楽しさは、全て提供する側が用意した物ですので、利用する客が、「あのホテルは良かった」「あの旅館は値段が高い割には・・・」といった様々な評価をするのだと思います。しかし、デイサービスにおけるサービスは、高齢者であるご利用者様に職員が「してさしあげること」が中心になつてはいけないのかもありません。筆者が介護の仕事に就いてまだ日が浅かつたころ、先輩職員に「坂道で荷物を持って歩いて登つてい

るお年寄りを見かけたとき、あなたはどうしますか。」と質問されたことがあります。「荷物を持ってあげて、一緒に歩きます」と答えると、「それはとてもいいことなんだけど、介護の専門家として捉えるなら、そのお年寄りがこの先もずっと、荷物を持って坂道を歩ける方法を考えていくことが必要になつてくるよ」と教えてもらったことがあります。ある研修に参加した際には「ありがとうには二つのありがとうがある。一つは、なんでもしてもらつてありがとう。二つめは、みんなのおかげでこんなたくさんの方が自分でできるよ、ありがとう。二つめのありがとうをご利用者様に言つてもらえるような取り組み

みを介護職員はしていかなければならない」とも学びました。自立支援という言葉がありますが、これは単に「できる事は自分でしてもらおう」ということではありません。また、「介助が必要になれば自立ではない」ということでもありません。「自らの生活スタイルを（援助を求めるところ）を含めて、自分で決めて実践すること」が自立であり、それを援助することが自立支援です。ご利用者様本人はもちろん、家族様ともよく相談する機会を持つて、それぞれのご利用者様のデイサービスを利用される目的や希望を明確にし、私たちが提供すべきサービスの内容を日々考えていきたいと思